

史料で深めるヒストリーツアーズ(ワークシート編) 史料B

→p.98ヒストリーツアーズ「『日本国民男子』よ、国会議事堂を目指せ!」

チェック1：史料Bは、女性の教育についてどのような考えをもっているだろうか？次のうちから1つ選ぼう。

- ① 女性は話が長くなる傾向があるので、教育せずに無知のままでいる方がよい。
- ② 女性がもつ特長は重要なので、男性に尊敬されるように女性を教育するべきだ。
- ③ 男性と女性には違いはないので、どちらも平等に教育の機会が与えられるべきだ。

チェック2：チェック1をペアで確認し、現在の私たちとの違いについて対話してみよう。

現在の私たちは男女を分けることなく平等に教育されるべきと考えているが、史料では男女を区分して、それぞれの特性に応じた教育をするべきだと考えている。

チェック3：「女子教育出世双六」は、女性の教育についてどのようなことを理想としているだろうか？次のうちから1つ選ぼう。

- ① 早くから軍事的な訓練を受けることで、貴重な戦力として貢献すること。
- ② 外国語を習得することで、国際化していく社会に求められる人材となること。
- ③ 裁縫を実践的に学ぶことで、子育てなど家庭を支える役割を担当すること。

チェック4：資料集本体p.98ヒストリーツアーズの「男子教育出世双六」との違いをまとめてみよう。

	身につける力	ゴールのマス	求められる役割
女子教育出世双六	裁縫、茶道、舞踊など	政治家の妻	男を支え、子育てをすること
男子教育出世双六	馬術、鳥獵、画学、演説など	政治家	政治に関わること

チェック5：史料Bの主張は、どちらの双六の主張と合致するだろうか？

【 女子教育出世双六 ・ 男子教育出世双六 】

チェック6：史料Bの主張は、日本に影響を与えた可能性がどの程度あるだろうか？資料集本体p.99コラム「自由民権運動におけるフランス政治思想の影響」を使って、ペアで考えてみよう。

同じくルソーの作品である『社会契約論』が日本で翻訳されているので、日本に影響を与えた可能性は十分にあると思う。

チェック7：現在にも残る「男らしさ」や「女らしさ」といった固定観念を取り払うことを目的として、これらの史資料から考えられることをグループで議論し、発表しよう。

これらの史資料からは、18世紀において男女ごとに求められる役割があったこと、そしてその役割を担うことができるように教育が行われていたことが分かる。かつて考えられていた「男は仕事で女は家事」といった性別役割分担などの固定観念も、こうしてつくられたのかもしれない。だからこそ私たちは、性別を基準とした考えは過去のものとして、決別することが大切だと思う。